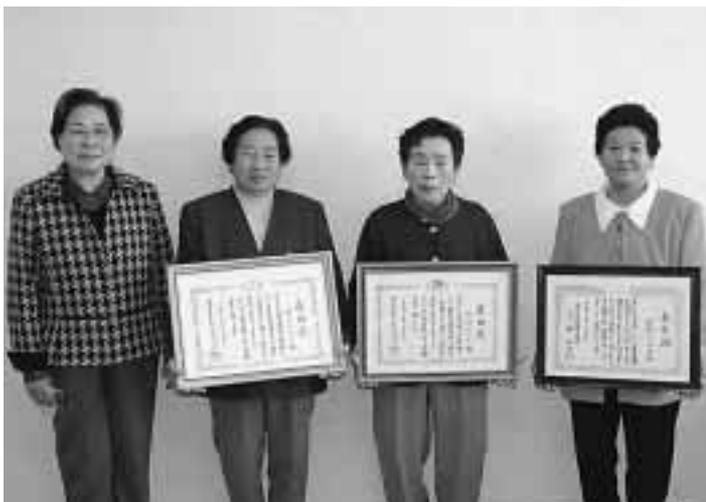


長年の活動に表彰状と感謝状

福島県更生保護大会で3人が栄誉



左から村更生保護女性会長の久米園枝さん、表彰者の細川マスエさん、熊谷テル子さん、菅野ハルヨさん

11月25日、いわき市の「平市民会館」にて開催された「第21回福島県更生保護大会」で、菅野ハルヨさん（小宮）に東北地方更生保護女性連盟会長表彰状、熊谷テル子さん（飯樋町）と細川マスエさん（上飯樋）に県保護観察所長感謝状がそれぞれ贈られました。

これは、更生保護女性会員として、長年にわたる犯罪のない明るい社会づくり活動を取り組んできた功績に対して贈られたものです。

表彰状と感謝状を受け取った皆さんは「賞状をいただき嬉しく思っていますが、最近では青少年犯罪が多発しています。これからも犯罪のない明るい社会づくりのために努力していきたい」と決意を新たにしていました。

お正月の縁起もの

しめ縄と門松づくり

昨年12月、お正月を控えて、村内各地でしめ縄や門松づくりが行われました。

12月2日、佐須老人クラブ（菅野次男会長）では、会員20人が100個のしめ縄を作りました。会員らは、塩水でワラを清めながら、慣れた手付きで編み上げました。

このうちの90個は、社会福祉協議会を通じて、

村内の一人暮らし世帯に届けられています。

また、12月12日には、伊丹沢行政区において、子ども会や老人クラブ、神社の若連会の会員ら

が、長さ約5尺の大きなしめ縄を作りました。このしめ縄は、近くにある2つの神社に奉納されています。

門松づくりを行なったのは、草野第二七福老人



佐須老人クラブのしめ縄づくり



伊丹沢行政区のつめ縄づくり



役場前に飾られた門松を囲んで



草野第二七福老人会竹炭部会の門松づくり

会竹炭部会（椋沢元一代表）。同部会では、村内の施設等に飾る門松を毎年つくっており、今回も12月20日に、役場をはじめ村内の各施設に飾られました。